

2025.7
季刊 夏号
広報誌

ろうさいひろば

For Healthy Aging , nagasaki rosai hospital

～私たちはヘルシーエイジングに取り組んでいます～



©SASEBO

Contents

- ・新任のご挨拶 薬剤部長
- ・医療トピックス
- ・新任医師の紹介、異動退職のお知らせ
- ・新人インタビュー
- ・救急医学会について
- ・7月からの予約受付時間について
- ・嚥下指導について①
- ・家庭でできる食中毒対策
- ・私の趣味「サッカー観戦！」
- ・スタッフインタビュー【vol.22】
- ・各科外来診療担当医師一覧表

理念

「勤労者と地域の皆様に良質な医療を提供します」

基本方針

1. 人権を尊重した患者中心の医療の実践
2. チーム医療に基づいた安全で専門的な医療の推進
3. 地域に根づいた急性期医療の提供
4. 早期社会復帰への支援
5. 予防医療による健康づくりへの貢献
6. 治療と仕事の両立支援及び産業保健活動の推進



独立行政法人 労働者健康安全機構

長崎ろうさい病院

新任のご挨拶

薬剤部長 山崎 美保



令和7年4月1日付で、長崎労災病院薬剤部長を拝命しました山崎美保と申します。新たな職務に就くことを光栄に思い、ご挨拶申し上げます。

私は広島県呉市で生まれ、地元の大学を卒業後、中国労災病院(呉市)で27年間、総合せき損センター(飯塚市)で1年間勤め、現在の長崎労災病院着任に至っています。ここ佐世保市は港町であり、鎮守府として日本遺産の認定を受けていること、海上自衛隊の基地もあることから、出身地である呉市と共通点が多く、とても親近感を覚えています。ここで、皆様と一緒に仕事ができることを大変うれしく思います。

現代の医療は急速に高度化・細分化が進んでいます。そのため、診療科横断的に関わることができる薬剤師が果たす役割は、ますます大きくなっています。医師、看護師をはじめ多職種と連携し、安心・安全で質の高い薬物療法の提供が重要と考えます。薬剤部では、薬剤師ひとり一人がくすりの専門家としてプロ意識を持ち、調剤や製剤をはじめ、抗がん剤の調製、薬剤管理指導、医薬品情報管理、チーム医療を通じて、患者さんにより良い医療を提供するために日々業務を行っています。また、研修会や学会に参加し知識・技術の習得に努め、専門・認定の資格を取得することに取り組んでいます。部長として、部員が医療人として学び続ける姿勢を大切に、やりがいを感じる職場作りを目指していきたいと考えています。

病院の理念である「勤労者と地域の皆様に良質な医療を提供する」ため、患者さんを中心とした薬物治療がシームレスとなるように、地域医療を担う保険薬局や多職種と協力し、患者さん中心のチーム医療を実践していきたいと考えております。

今後も変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Topics 医療トピックス

脳脊髄液減少症とは？

－ 佐世保で唯一の治療施設からのご案内 －

第二脳神経外科部長
高平 良太郎

● 脳脊髄液減少症とは？ ●

脳脊髄液減少症は、頭や脊髄の周囲を満たしている「脳脊髄液(CSF)」が何らかの原因で漏れ出し、体内での圧力が低下することで様々な症状を引き起こす病気です。特に、横になると軽快し、起き上がると悪化する特徴的な頭痛(起立性頭痛)が代表的な症状です。

● 原因と症状 ●

交通事故やスポーツ外傷、軽微な外力でも発症することがあり、患者さん本人がはっきりとした原因に気づかないこともあります。外傷など明らかな原因がない特発性の場合や、近年ではコロナ感染後にこの疾患を発症するという報告もあります。起立性頭痛以外にも、めまい、耳鳴り、全身倦怠感、易疲労感、集中力低下など、日常生活に支障をきたすさまざまな症状が現れることがあります。様々な症状を呈するため、適切な診断を受けられないことも少なくありません。



● 診断方法 ●

診断には頭部・脊髄 MR I 検査や R I 脳槽シンチグラフィー(放射性同位元素を用いた脳脊髄液の動態評価)、CT ミエログラフィーなどを用いて、脳脊髄液の漏出部位や脳の位置変化を評価します。ただし、画像上で明らかな漏れが見つからない場合でも、症状や経過から診断し、診断的治療を行うこともあります。画像上は否定的であっても、治療を行うと症状が改善する症例も経験します。

● 治療について ●

治療の第一選択は保存的療法(安静、水分摂取、点滴など)ですが、効果が不十分な場合や症状が強い場合には、「ブラッドパッチ療法(硬膜外自己血注入療法)」を行います。局所麻酔下で髄液の漏出が疑われる部位または腰部から硬膜外へ針を穿刺し、患者さん自身の血液を硬膜外腔に注入することで、漏れた部位を塞ぎ、脳脊髄液の再貯留を促進するものです。当院では透視下で穿刺針の先端を確認しながら行うことで、手技の安全に努めています。治療後1ヶ月ほどかけて症状が軽快していきます。漏れが多い場合やブラッドパッチ療法で症状が改善しない場合は、整形外科とも連携し、直達下で修復を行う場合もあります。



(看護 rool より抜粋)

当院での取り組み

当院は、佐世保市内で唯一、ブラッドパッチ療法を実施している医療機関です。脳神経外科医が専門的に診断・治療を行い、地域の皆様の頭痛や不定愁訴に対して丁寧に対応しています。本疾患では慢性的な経過をたどり長年症状に苦しむ人も少なくありません。症状にお悩みの方は、ぜひ一度ご相談ください。

新任医師の紹介

6月2日付け採用

循環器内科



せと ひろし
瀬戸 裕

北里大学 H24.3卒

この度、長崎労災病院に転任となりました瀬戸と申します。新任地におきましても微力ながら精一杯努力をいたす所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

泌尿器科



まえかわ のぶひで
前川 暢秀

山口大学 H31.3卒

泌尿器科の前川と申します。大学は県外ですが、大村市出身、佐世保勤務3年目となります。県北地区の皆さんに貢献できるよう尽力いたします。

新人インタビュー

ICU病棟
看護師
M・W

まだ慣れないことも多いですが、早く業務を覚え自立できるように頑張ります。

5西病棟
看護師
R・F

初心の気持ちを忘れず、患者さんに寄り添える看護師を目指して頑張ります！

6西病棟
看護師
N・M

笑顔と明るさを忘れず、1人ひとりの患者さんに寄り添った看護を行いたい。

6東病棟
看護師
M・G

分からないことは先輩に聞きながら成長できるように頑張ります。

7東病棟
看護師
M・M

急性期病院の看護師として、多重課題に対応しながらも1人1人の患者さんの訴えを聞き、個別性に沿った看護を実践していきたい。

7東病棟
看護師
Y・Y

急性期病院の看護師として多くの学びを得ながら、患者さんの思いを聞き、それぞれの患者さんに合った看護を行っていきたい。



5東病棟
看護師
S・A

どんな時も患者さんとそのご家族に寄り添い、安心感を与えられる看護師として頑張ります！

6西病棟
看護師
H・M

看護師という責任を持ち、患者さんの心に寄り添った看護を行いたい。

6東病棟
看護師
H・N

患者さんに安心感・満足感を与えるよう、学びを深めていきます。

薬剤部
A・S

責任感を持ち、安全かつ正確な業務に努めます。

薬剤部
Y・N

積極的に行動し、多くの知識を身につけ、早く一人前の薬剤師になれるように努めます。

中央リハビリ
テーション部
H・T

毎日がわからないことばかりで大変ですが、先輩方のご指導の元、日々の学びを大切に成長していきたいと思ひます。



異動・退職のお知らせ 6月1日付け退職

役 職	氏 名
循環器内科(第二循環器内科部長)	鍛先 重輝
循環器内科(循環器内科医師)	日高 拓也
脳神経外科(脳血管内外科部長)	前田 肇
泌尿器科(泌尿器科医師)	宮崎 佑也

2025

9/6

土曜日

第33回長崎救急医学会学術集会のお知らせ



第33回
長崎救急医学会学術集会
～みんなで守る救急医療～

演習会期間：2025年5月26日(月)～6月30日(月)

会期：2025年9月6日(土)
会場：アルカスSASEBO 大会議室(3F)
会長：酒井 英樹 (独)労働者健康安全機構
長崎ろうさい病院 院長

運営事務局
(独)労働者健康安全機構 長崎ろうさい病院
事務局代表 中島 高彰(副院長)
〒857-0134 長崎県佐世保市龍戸2丁目12番6号
TEL: 0956-49-2101 FAX: 0956-49-2358
E-Mail: nagasakiq-2025@nagasaki-h-johas.go.jp

in アルカス佐世保

第33回長崎救急医学会学術集会を、2025年9月6日(土)に、佐世保市のアルカス SASEBO で開催します。

私たちの暮らしの中で、突然の病気やけがの時に、救急医療はなくてはならない存在です。しかし近年、救急医療はひっ迫しています。地域社会の高齢化にともない、救急搬送を必要とする高齢の患者さんが増える一方、救急医療を担う医師や看護師は不足しています。救急車の「たらい回し」という言葉を耳にすることもあり、救急搬送患者さんの受け入れ体制に課題が生じています。

そこで、今回の学術集会のテーマを「みんなで守る救急医療」とし、市民公開講座として、「みんなで考えよう地域の救急」のパネルディスカッションを企画しています。救急医療を支える医療者や救急隊・行政の方々、そして市民の皆さんと一緒に救急医療の現状を知り、何ができるのかを共に考えることが、地域全体で支える救急医療体制につながると思います。皆様のご参加をお待ちいたします。

お知らせ



再来受付時間について

令和7年

7/1～

令和7年7月1日より再来受付は、予約時間の60分前からに変更いたしました。

(但し、再診受付開始時間は8時15分からです)

予約時間の60分前までの受付はできません。

ご理解、ご協力をお願いいたします。

病院長

食べ続けるために



言語聴覚士 田中 玲子

食べることは、生きていくために欠かせない行為です。栄養の確保だけではなく、楽しみや満足感を得ることができます。

しかしながら、程度の差はありますが、年齢を重ねると多くの人は「飲み込む(嚥下)力」が低下していきます。筋力の低下や栄養不足、病気による影響等、さまざまな問題で徐々に口から安全に食事を摂取することが難しくなります。気になる症状があっても、本人や家族も見逃しがちです。放置すると悪化し、問題は大きくなっていきますので、いち早く気付くことが必要です。

そこで、どの程度飲み込む力があるのかを確かめるには、いくつか方法があります。今回ご紹介するのは、家庭でも手軽にできる簡単なテスト法ですので、是非試してみてください。

反復唾液嚥下検査

30秒間で何回唾液を飲み込めるか数えます。

- ① 楽な姿勢で座る。
- ② 口の中をしめらせる。
- ③ 喉仏に指を当てる。
- ④ 30秒間、唾液の飲み込みを繰り返し、その回数を数える。



30秒間で3回以上なら正常です。1回または2回しかできないと、何らかの異常があると考えられます。健康なら何回も「ごくん」と飲み込めます。

水飲みテスト

コップ30ccの水を咽せなく飲めるか判断します。

- ① 楽な姿勢で座る。
- ② コップ30ccの水を1回で飲む。

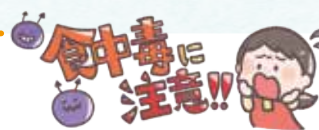


咽せなく1回で、5秒以内に飲めれば正常です。咽せはないが、2回以上に分けて飲んだり、1回で飲めても、咽せたり時間がかかってしまうと、何らかの異常があると考えられます。

このようなチェックをして、飲み込む力の低下が疑われる場合は、食べ方や食べるものに工夫が必要な状態かもしれません。専門的な知識のある医師や看護師、言語聴覚士、介護士等に相談し、場合によっては詳しい検査も必要になります。

次回は、安全に食べるために注意することや、食品についてもご紹介したいと思います。

家庭でできる食中毒予防 ⑥つのポイント



連日の猛暑で食中毒の危険が高まっています。

家庭でできる食中毒予防をご紹介しますので、しっかりと対策をして安全な食事をとりましょう。

1

食品の購入



- ★消費期限をチェックする
- ★肉・魚は分けて保冷剤と一緒に入れる

2

家庭での保存



- ★冷蔵庫に入れるのは7割程度にする
- ★冷蔵庫は10℃以下にする
- ★冷凍庫は-15℃以下にする

3

下準備



- ★冷凍品の解凍は自然解凍ではなく冷蔵庫で行う
- ★包丁などの器具は肉・魚を切ったら洗って熱湯をかける

4

調理



- ★加熱は十分に行う(中心部分を75℃で1分以上加熱する)
- ★電子レンジを使う場合は均一に加熱されるようにする

5

食事



- ★食事の前に手を洗う
- ★長時間、室温に放置しない

6

残った食品



- ★残り物は冷ましてから保存する
- ★温めなおす時は十分に加熱する(目安は75℃以上)

Column

\私の趣味/

サッカー観戦！

手術室看護師 山本 美樹

以前からサッカー観戦は好きだったのですが、数年前より長崎のプロサッカーチーム『ヴィファレン長崎』の応援にはまっています。ホーム戦の日は、玄関や水回りを掃除し、家中の神様をお願いをしてスタジアムへ向かいます。白熱した戦い、最後までアグレッシブに闘う選手たちを応援するだけでも楽しいのですが、ヴィファレン長崎が勝利し、推し選手のかっこいいプレイが観れたらテンションは最高潮！

昨年秋に開業した長崎市のピーススタジアムは、観るのはもちろん、買う、食べる、飲むが満喫できます。最近、所用で長崎市に行くことが多く、そのたびにスタジアムに寄ってしまいます。ある日は、芝生の整備がされているところに遭遇。緑の芝をあんなに綺麗な状態に保つために、いろいろな機械を使って、昼夜を問わず整備をされているのがわかり、ますます「好き」が加速します。

まだシーズン中盤ですが、J1昇格を祈って、これからも応援を楽しみたいと思います。



Topics

スタッフインタビュー

vol.22

今回は、感染管理者 福井良枝さんにインタビューしました。

Q 「感染管理者」の役割について教えてください。

A 感染管理者とは、診療報酬における感染対策向上加算の要件として、院内に1名の配置が求められています。感染管理認定看護師である私は2010年よりこの任に就いています。

感染対策は、特別な事ではなく、日々の診療やケアの中で自然に実践されるべきものです。現場の職員の皆さんがムリなく、ムダなく、きちんと続けられる実践的な感染対策を支えること、それが私の役割だと思っています。「持続可能で、かつ“効率”と“有効性”のバランスのとれた感染管理」を目指し、教育や支援、仕組みづくりに取り組んでいます。

Q 当院では、どのような活動を行っていらっしゃいますか？

A 感染対策チーム(ICT)および抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の一員として活動しています。院内ラウンドや感染症発生時の迅速な対応をはじめ、患者さん一人ひとりに最も適切な治療が提供されるよう支援を行っています。

院内で対策が必要な感染症は多岐にわたり、その動向は常に変化しています。そのため、最新の情報をタイムリーに共有することを重視しており、広報誌を活用した情報提供も大切な活動のひとつと考えています。

Q 福井師長さんの趣味やストレス発散方法は何ですか？

A コロナ流行前までは海外旅行やウェイクボードやスノーボード等、どちらかと言うとアウトドア派でしたが、コロナ流行以降は、まったく何もしていません(できていません)。唯一残っている楽しみは往復1時間の車の運転くらいです。

ストレスはどんなに忙しくても、何故かあまり感じません。何かあっても愚痴を誰かに話してスッキリする方法で、職場の同僚からはポジティブさに驚かれることもあります。

今回は感染管理者の福井師長へインタビューを行いました。

感染症発生時の対応をはじめ、感染制御および抗菌薬適正使用に役立てることを目的とした「週報」・「月報」の作成や感染症発生動向の情報共有、手指消毒等の指導、院内研修会の運営など、日々多様な活動を行っていらっしゃいます。

私たち職員が安心して業務が遂行できたり、患者さんに安全な医療、環境を提供できているのは、このような福井師長の様々な活動のおかげだと思います。



各科外来診療担当医師一覧表

2025.7.1 現在

診療科	曜日	月		火		水		木		金	
		午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後
一般内科	新 患	本田章子 卜部繁俊		吉村映美 延末謙一		後藤貴史		池田 徹 鋤塚磨呂		山領 豪	
	再 診	山領 豪	後藤貴史	池田 徹 卜部繁俊		延末謙一 鋤塚磨呂		本田章子 肝臓専門外来 (予約)		後藤貴史 吉村映美	
循環器内科	新 患	山佐稔彦		瀬戸 裕		山佐稔彦		山佐稔彦		瀬戸 裕	
	再 診	山佐稔彦		瀬戸 裕		山佐稔彦		山佐稔彦		瀬戸 裕	
外科	新 患	前田茂人 笠伸太郎		前田茂人 吉野恭平		岩田 亨 橋本敏章		岩田 亨 吉野恭平		橋本敏章 笠伸太郎	
	再 診	前田茂人		前田茂人 吉野恭平		岩田 亨 橋本敏章		岩田 亨 吉野恭平		橋本敏章 笠伸太郎	
乳腺・甲状腺外来			前田茂人 ○ (要確認)				岩田 亨 ○ (要確認)				橋本敏章 ※マンモグラフィー 検診のみ
整形外科	新 患	鳥越雄史 中山宗郎 樋口尚浩		今井智恵子 徳永敬介 水野聖来	馬場秀夫 (セカンドオピニオン) (第4週のみ)	徳永敬介 貞松毅大 横田 栞		馬場秀夫 田中奈津美 豊島高正		神崎衣里 磯部優作 松崎宏生	
	再 診	馬場秀夫 田中奈津美		貞松毅大 神崎衣里 樋口尚浩		鳥越雄史 今井智恵子 中山宗郎		磯部優作 松崎宏生 水野聖来		徳永敬介 豊島高正 横田 栞	
形成外科		今泉敏史		今泉敏史		今泉敏史				今泉敏史	
脳神経外科		北川直毅		高平良太郎		北川直毅		近松元気		高平良太郎 (第1・3・5週) 近松 元気 (第2・4週)	
皮膚科						(非常勤)				(非常勤)	
泌尿器科		丸田 大 スッキリ 排尿外来		前川暢秀		酒井英樹 スッキリ 排尿外来		丸田 大		前川暢秀 スッキリ 排尿外来	
眼科						長崎大学 (非常勤)				長崎大学 (非常勤)	
耳鼻咽喉科				長崎大学 (非常勤)				長崎大学 (非常勤)			
リハビリテーション科						田中奈津美 (完全予約制)				田中奈津美 (完全予約制)	
放射線科		川原康弘				川原康弘		川原康弘			
麻酔科		大路牧人 大路奈津子		大路牧人 大路奈津子		大路牧人 大路奈津子		大路牧人 大路奈津子		大路牧人 大路奈津子	

※ ○ (要確認)：予約のご相談が可能です。外科外来にご確認ください。



独立行政法人 労働者健康安全機構

長崎ろうさい病院

発行責任者 酒井 英樹

〒857-0134 佐世保市瀬戸越2丁目12番5号
TEL 0956-49-2191 FAX 0956-49-2358
www.nagasaki.johas.go.jp

受付時間

新患／午前 8:15～午前 11:00

再来／午前 8:15～午前 11:00

休診日

土・日曜・祝日 (振替休日を含む)・国民の休日
 年末年始 (12月29日～1月3日)

※救急患者はこの限りではありません。

交通案内図



【バス】西肥バス「矢峰経由柚木行」もしくは「矢峰行」に乗車【労災病院入口】にて下車
 【タクシー】佐世保駅より約20分 左石駅より約3分
 【MR松浦鉄道】左石駅・泉福寺駅より徒歩約10分